

# 指導普及

## 1 養殖指導

県内の養殖業者に対し巡回指導を行うと共に、随時魚病診断及び治療、水質環境調査、養殖技術情報伝達等を行った。

### (1) 養殖業者指導

マス類養殖業者 30 経営体、アユ養殖業者 3 経営体、ニシキゴイ養殖業者 5 経営体、その他魚類養殖業者 2 経営体を巡回し、飼育環境を点検すると共に養殖技術に関する指導を行った。

### (2) 水産用ワクチンの使用に関する指導

水産用ワクチン（ビブリオ病）の使用に際し、業者からの申請に基づきその都度現地調査及び魚病検査を行って使用指導書を発行した。令和 4 年度の使用指導書の発行は 9 件であった。

魚種	指導書発行件数	使用業者数	使用量
ニジマス	9 件	5 経営体	131.5L

### (3) 水産用抗菌剤の使用に関する指導

水産用抗菌剤の使用に際し、業者からの申請に基づき使用指導書を発行した。令和 4 年度の使用指導書の発行は 7 件、使用業者数は 7 経営体であった。使用魚種はニジマス、ヤマメ、アマゴ、イワナであった。

### (4) KHV 病対策

- KHV 病発生状況

令和 4 年度は発生が無かった。

- KHV 保菌検査

当所産マゴイ 60 検体について、農林水産省が示した特定疾病ガイドラインに準拠し、PCR 法を用いて一次診断を行った。その結果、すべての検体が KHV 陰性と診断された。

### (5) 輸出錦鯉衛生証明の発行

山梨県輸出錦鯉衛生証明事務取扱要領に基づく、輸出衛生証明書発行ガイドラインのリスト掲載養殖場は 5 経営体で、これらの養殖場に対して次のとおり衛生証明書を発行した。

国名	回数
アメリカ	14
イギリス	13
デンマーク	1
オランダ	2
マレーシア	9
シンガポール	2
インドネシア	3
タイ	2
ベトナム	8
南アフリカ	3
ドイツ	5
11カ国	62

## (6) 魚病診断件数

令和4年1月から12月に当所に持ち込まれた検体および現地で採取した検体について、魚病診断を行った結果は次のとおりである。

	ニ ジ マ ス	ヤ マ メ	ア マ ゴ	イ ワ ナ	ヒ メ マ ス	カ ワ マ ス	富 士 の 介	ア ユ	コ イ	合 計
<b>● 単独感染</b>										
<b>(ウイルス性疾病)</b>										
1 伝染性造血器壊死症 (IHN)	4	1	1				6			12
2 コイヘルペスウイルス病 (KHVD)										0
3 サケ科魚ヘルペスウイルス病 (OMVD)							1			1
4 異型細胞性鯉病 (ACGD)										0
5 ウイルス性コイ浮腫症									1	1
<b>(細菌性疾病)</b>										
6 せつそう病	1						1			2
7 ピブリオ病	1	3								4
8 細菌性鯉病	1	1								2
9 細菌性腎臓病 (BKD)					4					4
10 冷水病	4			1				5		10
11 運動性エロモナス症										0
12 レンサ球菌症										0
13 カラムナリス病									1	1
14 穴あき病										0
15 エドワジエラ・イクタルリ感染症										0
<b>(真菌症)</b>										
16 イクチオホヌス症										0
17 胃鼓張症										0
18 内臓真菌症			1							1
19 水カビ病										0
<b>(寄生虫症)</b>										
20 キロドネラ症				1						1
21 白点病							1			1
22 ギロダクチルス症					1					1
23 ダクチロギルス症										0
24 トリロジナ症										0
25 テトラオックス症										0
26 腸管鞭毛虫症				2						2
27 イクチオボト症										0
28 エピスチリス症										0
29 アカントケファルス症										0
<b>(その他)</b>										
30 ガス病										0
31 チョウチン病										0
32 水質異常										0
<b>● 混合感染</b>										
1+6							1			1
1+7		5								5
1+7+25		1								1
1+8		1								1
1+10	6	1								7
1+10+21	1									1
1+10+22	1									1
1+19							1			1
1+19+24		2								2
1+21	1									1
1+22							1			1
6+16	1									1
6+16+24						1				1
7+22				2						2
13+21	2									2
19+20				1						1
19+30							1			1
22+24+30								1		1
22+30					1					1
不明	1	2		1	1		1			6
合計	24	17	2	8	7	1	14	6	2	81

## 2 増殖指導

河川湖沼の漁協等に対して増殖に関する指導を行うとともに、随時環境調査や増殖技術情報の伝達を行った。

### (1) 漁協指導

月日(回数)	対象(人数)	内容	担当
4月12日	峡北、中央、峡東、富士川、丹波、桂、都留、秋山、道志、県漁連(24)	アユ漁業対策会議	近藤、岡崎、三浦、芦澤、藤原
5月10日	富士川漁協(3)	アユ増殖指導	岡崎、芦澤
5月19日	富士川漁協(3)	アユ増殖指導	芦澤・藤原
5月25日～ 9月21日 (17回)	峡東漁協・県漁連(延べ34)	コクチバス駆除指導	谷沢・三浦
5月31日	富士川漁協(3)	アユ増殖指導	芦澤・藤原
6月7日	峡北漁協(3)	アユ増殖指導	芦澤・藤原
6月7日	桂川漁協(5)	カワウ対策指導	三浦・谷沢
6月23日	山中湖、河口湖、西湖漁協(15)	オオクチバス漁業対策検討会	谷沢・三浦
6月24日	富士川漁協(2)	アユ増殖指導	芦澤・藤原
7月7日	富士川漁協(3)	アユ増殖指導	芦澤
7月11日	富士川漁協(3)	アユ増殖指導	三浦・芦澤
8月26日	峡北漁協(3)	カワウ対策指導	三浦
9月2日	中央漁協(2)	カワウ対策指導	三浦
9月22日	峡東漁協(1)	カワウ対策指導	三浦
10月16日	峡東漁協(15)	人工産卵場造成指導	三浦・谷沢
10月19日	都留漁協(2)	カワウ対策指導	三浦
10月31日	峡北、山梨中央、峡東、富士川、丹波川、桂川、都留、秋山、道志村漁協、県漁連(20)	アユ漁業対策会議	岡崎・三浦・芦澤・藤原
11月10日	峡北漁協(1)	カワウ対策指導	三浦
11月14日	富士川漁協、県漁連(3)	漁場環境改善指導	三浦・芦澤
11月30日	山中湖、河口湖、西湖、精進湖、本栖湖漁協、県漁連(7)	ワカサギ放流種苗検討会	谷沢
12月1日	富士川漁協(3)	アユ増殖及びカワウ対策指導	岡崎・三浦・芦澤
12月2日	富士川漁協、県漁連(3)	漁場環境改善指導	三浦・芦澤
1月13日	河口湖漁協(1)	カワウ対策指導	三浦
2月1日	富士川漁協、県漁連(3)	漁場環境改善指導	三浦・芦澤
3月1日	富士川漁協、県漁連(2)	漁場環境改善指導	三浦・芦澤
3月3日	富士川漁協、県漁連(2)	漁場環境改善指導	芦澤
3月22日	富士川漁協、県漁連(6)	アユ増殖指導	岡崎、芦澤

### (2) 関係機関指導

月日(回数)	対象(人数)	内容	担当
4月6日	峡東建設事務所(3)	魚道整備指導(日川)	谷沢
4月25日	中北建設事務所(2)	魚道整備指導(貢川)	谷沢・三浦
6月1日	甲府河川国道事務所(3)	河川水辺の国勢調査打合せ	近藤・岡崎・三浦
6月14日	押原小学校(2)	ビオトープ造成指導	谷沢
10月6日	甲府河川国道事務所、治水課、早川町、南部町、身延町、日軽金(15)	富士川中流域アユを育む・清流プロジェクト ワーキンググループ勉強会	三浦・芦澤
10月12日	中北建設事務所(3)	河川改修指導(荒川)	三浦・谷沢・芦澤
10月18日	押原小学校(2)	ビオトープ造成指導	三浦・谷沢

10月26日	甲府河川国道事務所、治水課、早川町、南部町、身延町、日軽金 (15)	富士川中流域アユを育む・清流プロジェクト ワーキンググループ現地勉強会	三浦・芦澤
10月31日	甲府河川国道事務所 (10)	第1回富士川維持流量検討会	近藤
11月1日	甲斐駒清流懇話会・富士川砂防事務所 (20)	人工産卵河川改修指導	近藤・岡崎・三浦・谷沢
11月2日	中北建設事務所 (2)	河川改修指導 (荒川)	三浦・谷沢
11月26日	甲府河川国道事務所 (10)	富士川維持流量検討会現地視察	近藤
12月5日	中北建設事務所 (2)	河川改修指導 (荒川)	三浦・芦澤・谷沢
12月7日	甲府河川国道事務所 (4)	河川水辺の国勢調査打合せ	近藤・岡崎・三浦
12月26日	甲府河川国道事務所 (10)	第2回富士川維持流量検討会	近藤
2月8日	甲府河川国道事務所 (10)	第3回富士川維持流量検討会	近藤
2月24日	富士・東部建設事務所 (3)	忍野村新名庄川浚渫立会	加地
3月3日	甲府河川国道事務所 (10)	第4回富士川維持流量検討会	近藤
3月14日	富士河口湖町・西湖漁協 (8)	クニマス保全について	岡崎・青柳・名倉・三浦・芦澤

### 3 普及

#### (1) 講習会の開催

- 増殖技術講習会 令和4年7月12日 県漁連水産会館  
「放流だけに頼らない漁場管理」  
(国研) 水産研究・教育機構 水産技術研究所 研究員 宮本 幸太 氏
- 養殖技術講習会 令和4年1月17日 県漁連水産会館  
「富士養鱒協ブランド大型ニジマス「富士山の湧水が育てた大々鱒・紅富士」について」  
静岡県富士養鱒漁業協同組合 秋山 徳浩 氏  
静岡県水産・海洋技術研究所富士養鱒場 佐藤 孝幸 氏

#### (2) 水産技術センター便りの発行

県内水産関係者向けに、山梨県水産技術センター便り No. 73,74 を発行した。

#### (3) 行事等への協力

8月9日	日本脳下垂体研究会話題提供 (青柳)
8月22日	山梨大学ホトケドジョウ講義 (青柳)
8月30日	長坂小学校5年県政出張講座 (岡崎)
9月6日	吉田小学校5年県政出張講座 (青柳)
10月1日	県漁連釣り教室 (道志川) (三浦)
10月2日	県漁連釣り教室 (日川) (谷沢)
10月12日	忍野中学校職業講話 (平塚)
10月15日	山梨県農業祭り (藤原)
10月24日	甲府南高校ホトケドジョウ講義 (加地、青柳)
11月20日	山梨県錦鯉品評会 (近藤)
12月14日	山梨県立大学講義 (岡崎)

#### (4) 新聞雑誌への掲載等

月 日	新聞雑誌名	内 容
4月8日	山梨日日新聞	稚アユ出荷始まる 甲斐のセンター初日5万匹

6月10日	山梨日日新聞	カワウ封じ込め岐路 甲府の営巣地から「謎」の分散 アユ捕食拡大に懸念
7月16日	読売新聞オンライン	山梨の新名物「富士の介 ZUKE」って何?…特製タレで漬けたご当地サーモンです
8月18日	ヒトサラ (Web記事)	世界でも希少!海なし県・山梨から生まれた味なるサーモン「富士の介」
10月17日	山梨日日新聞	人工産卵場を愛好家ら造成 甲州・日川支流
11月8日	山梨日日新聞	学校に「小川」再現 昭和・押原小 ビオトープを改修
11月11日	山梨日日新聞	コクチバス完全駆除視野 山梨・琴川ダム 再繁殖を警戒、正念場
12月8日	山梨日日新聞	琴川ダムのコクチバス駆除負担 漁協業務妨害で被害届 密放流防止へ一石
12月9日	山梨日日新聞	コクチバス 漁協が被害届 「密放流は犯罪周知」
12月16日	山梨日日新聞	「レイクトラウト」初確認、密放流か 大型外来魚本栖湖に 漁協「在来魚食害恐れ」
1月5日	月刊養殖ビジネス1月号	山梨県の新ブランド魚「富士の介」事業化プロセスと強み
1月25日	ただいま1月号	富士の介寿司で年始めを華やかに 地元養殖魚の明るい未来
2月8日	山梨日日新聞	外来「藻」河川むしばむ 県内3水系 釣り具に付着・拡大か アユ定着率低下恐れ
3月18日	山梨日日新聞	外来マス本栖湖で繁殖か 県、28匹捕獲駆除へ調査
3月25日	山梨日日新聞	レイクトラウト捕獲 県センター 駆除へ生態調査
3月27日	山梨日日新聞	クニマス最多1万7030匹 西湖産卵環境が改善 県21年度推定
3月27日	下野新聞	中禅寺湖のみ生息のはずが... レイクトラウトが山梨で確認 密放流か

#### (5) 視察及び見学

○ 本所関係

月 日	内 容	受入人数
8月9日	中学校技術分野教員研修	5名
8月10日	北巨摩小中学校理科教員視察	15名

○ 支所関係

月 日	内 容	受入人数
4月25日	忍野村特産品開発部会視察	6名
6月9日	国母小学校5年社会科見学	60名
9月2日	東京学芸大学社会科調査	1名
9月7日	甲府湯田小学校5年校外学習	29名
11月1日	日本大学インターン受け入れ(～11/11)	2名
11月25日	東海大学採卵実習	21名
12月20日	秋田県水産振興センター等視察	7名
3月24日	秋田県水産振興センター視察	2名

#### (6) クニマスの貸出実績

○ 生体及び標本の貸出実績(尾)

期間	標本	生体	申請者	展示場所
2021.5.7～	0	15	富士河口湖町	西湖ネイチャーセンタークニマス展示館
2021.9.29～	0	10	秋田県	田沢湖クニマス未来館
2021.12.21～	0	20	秋田県	田沢湖クニマス未来館
2022.3.18～5.29	2	0	(株)新江ノ島水族館	新江ノ島水族館